

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成22年 2月 8日)

開催日及び場所		平成21年12月15日(火曜日) 1号館5階会議室			
委員		中野芳輔(大学名誉教授) 米澤和彦(大学学長) 川野由紀子(会社監査役) 内田光也(弁護士)			
審議対象期間		平成21年7月1日～平成21年9月30日			
審議対象案件		347件 うち、1者応札案件18件 契約の相手方が公益法人等の案件15件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件2件 (抽出率3%) (抽出率11%) 契約の相手方が公益法人等の案件2件 (抽出率13%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		3件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名 競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		2件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意契約		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名 競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意 契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
			その他の随意契約		0件
	物品・ 役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件1件	
指名競争		0件			
随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件1件			
随意契約(その他)		0件			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>I 平成21年度第2・四半期入札方式別発注状況について 意見・質問なし</p>	
	<p>II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について</p> <p>1. 工事 (1) 平成21年度筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業佐賀西部導水路白石線牛津川横断工工事</p> <p>・入札が無効になっている業者は、工事費内訳書の積み上げが合わないということだが、積算が合っていないという判断でいいのか。</p> <p>・落札業者以外が全て低入札となっているが、どう理解すればよいのか。</p> <p>・調査基準価格に近い価格で業者が損をすることはいいのか。</p>	<p>・積算内訳には〇〇土工等の複数の積算項目があり、その積み上げに間違いがあった場合、各項目の積み上げが入札価格とならないことから、無効としています。</p> <p>・工事数量や単価について公表していることから、高い精度で予定価格を推測していると思われます。 本工事については調査基準価格の算定方法も公表しているのですが、管材費が工事費の大半を占め、材料費を安めに見積もっている業者が多かったため、このような結果になったと思われます。</p> <p>・利益は少なくなると思われます。</p>
	<p>(2) 平成21年度筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業白石導水路(六角川横断工その1)工事</p> <p>・直接工事費を安く見積もったことで低入札が多いとの事であるが、直接工事費の中で一番大きいウエイトを占めるのは、どの工種か。</p> <p>・管材に使用する原料の価格変動や、時期的なものも影響しているのか。</p> <p>・応札価格が3番目の業者が落札者となっているが、評価点の差が、この様な結果になる要因なのか。</p> <p>・同日に2件の入札があり、両方に参加している業者もいるが、1件目の入札が低入札であった業者が結果を受け、2件目の入札価格を変更することはできないのか。</p>	<p>・本工事の場合は管体工が直接工事の大半を占めます。 管体工の内訳は、管の材料費と加工の手間に要する費用です。</p> <p>・管材の価格については公表されていますので、業者が個々に積み上げる加工費を安く見積もったものと思われます。</p> <p>・落札者が3者の中で最も優れた施工計画を提出したので、最高の評価点を与えており、総合評価の結果、逆転することになりました。</p> <p>・2件とも電子入札案件で、前日に入札を締め切っているため、入札価格を変更することはできません。</p>

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>(3) 平成21年度西諸(二期)農業水利事業深草支線水路工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者を配置できなくなったために辞退している業者が多いが、同日に複数の入札に参加する場合は、それぞれ別の技術者を配置する必要があるのか。 ・入札が同時期に重なっているようだが、工事に適した時期があるのか。 ・技術者を複数配置できるのに、落札者以外が全て辞退している事に違和感を感じるが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1件の工事に2～3人の技術者を配置することもでき、その場合であれば別工事を落札しても、残りの技術者を配置することで入札に参加できますが、技術者が1人の場合で別工事に配置することとなった場合には、入札参加資格が無くなりますので、辞退をしないと指名停止措置を行うこととなります。 ・工事用地に水田がある場合は、稲刈り後でないとい工事着手できない場合等があります。 ・工事の規模に応じた参加業者の等級を定めており、本工事については事業所発注工事であるため、参加業者が中小企業となっています。 中小企業では会社に在籍する技術者数が大手と比べると少なく、また入札手続きの期間が長いので、その期間に別工事を受注する場合もあるなど、時期により技術者が不足することもあり、この様な結果になったと思われます。
	<p>(4) 平成20年度肝属中部(一期)農業水利事業荒瀬ダム管理(工事)用道路法面対策工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格の確認で、応募者3者の内1者については、同種工事の実績が無いことから本入札に参加できないことになっているが、このような業者はどこで実績を作ればよいのか。 ・本工事で設置する道路は仮設道路で工事後は使用しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質確保の観点から、施工実績を求めています。実績については、当局発注に限らず、他省庁、地方公共団体、民間工事での実績も認めることにしています。 ・件名に「管理(工事)用」と記載がありますが、工事施工中は工事用道路として使用し、工事完了後には管理用道路として使用するものです。

	意見・質問	回答等
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	<p>(5) 平成21年度肝属中部(二期)農業水利事業主要幹線水路(新富工区)舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者に求める技術資料とはどのようなものか。 ・農業水利事業で道路のみの工事を行うのか。 ・管水路工事の復旧時に舗装工事を行わないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は工事希望型競争入札方式であるため、参加資格の有無を確認する資料として、同種工事の契約書(写)や、専任技術者の資格証(写)等の提出を求めています。 ・先に、当該道路下に管を埋設する工事を行っており、工事施工後にその部分の舗装を復旧するための工事です。 ・大型車両なども通行する道路であり工事後の沈下が想定されたため、期間を空け、十分に転圧させた後に舗装工事を行いました。
	<p>(6) 徳之島用水(一期)農業水利事業徳之島ダム第三期建設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このダム工事は第三期で完成するのか。 ・見積執行の落札率が高いが、随意契約の場合は一般的に高くなるのか。 ・件名に一期と記載があるが、何期までなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回発注した第三期工事で完成します。なお、施設機械については、未発注ですが、本工事の期間に合わせて発注予定となっています。 ・長期間、同じ現場で工事を行っており、現場条件に精通しているため、精度の高い見積ができるものと思われます。 ・一期と二期があり、ダムの水源については一期で予算を取っており、二期は下流側のパイプライン工事の予算となっています。
	<p>2. 業務</p> <p>(1) 平成21年度ストックマネジメント技術高度化事業八代平野地区北岸導水路調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式の選定結果は、技術提案書の評価で差がついたものと考えて良いか。評価結果を見ると実施方針で10点、6点、3点と業者によりかなりの差があるようだが、提案書に明らかな差があるものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針の評価に当たっては着眼点を3項目設け、さらに各項目毎に2～3点の着眼点内訳を設けているが、内訳に該当する記述が無いものや、業務に対する理解が足りない項目については1行程度の記述しか無い提案書もあり、提案書の優劣には明らかな差があります。

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査に使用する水中ロボットカメラというものは、各社が持っているものなのか。 ・導水路の水を抜くことは出来ないということであるが、流速はかなりあるのか。 ・潜水夫が入って調査することは出来ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持っていないと調査方法の提案もできないと思われます。なお、今回選定された業者については、導水路の縦断方向だけでなく、静止して目地等の横断方向の撮影も可能な水中ロボットカメラを提案しています。 ・導水路を空にして人間が調査するのが一番確実ですが、上水道・工業水道を止めることが出来ないため今回の手法を採用しましたが、流速を抑えるために農業用水だけは止めていただき、通常2～3m/秒の流速を0.5m/秒に落として調査を行っています。 ・潜水夫が見る場合についても照明が必要であり、導水路が空であれば調査精度も上がるが、水を流しながらでは精度が落ちると思われます。
	<p>(2) 平成21年度都城盆地農業水利事業施設・用地管理図作成業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の半分以下の落札価格で業務を行えるのか。 ・本業務は図面作成となっているが、業務価格は人件費が大半を占めるのか。 ・低入札価格調査とは具体的にどのような調査を行うのか。 ・図面等の成果物は土地改良区で使用するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事であれば、施工体制確認において機械経費や材料費など最低限必要な金額もあるので、その点についてしっかりヒアリングして施工可能か判断できるが、業務の場合には業者がこの価格で出来ると言えば、業務を行えないという判断をすることは難しいのが現状です。 ・材料費もありますが、人件費が大半を占めます。 ・当該価格で入札した理由、手持ち業務の状況、業務実施体制、各技術者の資格と業務従事状況等を確認し、業務の品質が確保できるか判断するものです。 ・本業務で作成する成果物は事業成績書を構成する図書であり、土地改良施設の概要、設置に係る道路、河川協議資料も含まれ、図面については、ダム等の水源を始点、末端の支線水路を終点として観測点を付しており、管水路の一部が破損した場合には、図面を見れば施設の構造、土地の所有者、協議相手等が分かるようになっています。 今回の成果品については、関係する地方公共団体、土地改良区、農林水産本省、農政局へ配布するため7冊作成しています。

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>3. 物品・役務等</p> <p>(1) 平成21年度西諸(二期)農業水利事業西諸地区水環境保全対策調査業務</p> <p>・総合評価落札方式による一般競争となっているが、技術点の評価に重点をおいた手法なのか。</p>	<p>・技術点の評価に重点をおき、価格も加味した評価方法となっています。</p>
	<p>(2) 平成21年度九州農政局国営事業ダム技術検討業務委託事業</p> <p>・企画競争による随意契約であるが、見積執行調書はないのか。</p>	<p>・企画競争の場合は参加者を求める公募の段階で限度額を示し、その価格の範囲内での提案を求めており、企画競争で選定された業者の提案された金額での契約となるため、見積執行は行っていません。</p> <p>なお、今回は提案書提出が1者でありましたが、欠格条件に該当しなかったため、当該業者と契約を行っています。</p>
	<p>Ⅲ 再度入札における一位不動状況について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅳ 指名停止について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅴ 入札談合情報について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅵ 次回委員会開催予定について</p> <p>事務局より平成22年3月18日(木) 13:30~17:00 九州農政局会議室を提案。</p>	事務局提案どおり決定。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。	

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。